

公益社団法人日本技術士会神奈川支部
科学の祭典2018神奈川大会 実施報告書

開催日	2018年8月12日(日) 10:00~15:30
開催場所	神奈川県立青少年センター 3階 研修室Ⅱ
概要	毎年開催される祭典で、神奈川県立青少年センター主催 青少年のための科学の祭典2018神奈川大会で、今年も昨年に引き続き参加した。
内容	日本技術士会神奈川支部社会委員会科学技術振興支援小委員会より 対外活動の一つとして理科の体験及び工作活動の普及のため4ブースを出展した。 各ブースの出展内容並びに主&副担当者: 1)磁石を使った工作 <工作> 千葉、森尻、原 2)不思議なコマ <工作> 栗山、荒木、新井 3)オーバルビリヤード <体験> 吉田、太田、高祖 4)TRIZの発明原理~夏休みは、発明観察をしてみよう <観察> 中村、石田、高木

実施結果

主催者発表の全体来場者数:599人(子ども310人、大人289人)

技術士会の4ブースには360名(大人を含む)の理科に関心ある小・中学生並びに父母たちが来場

1)来場者

①幼稚園児(未満を含む)	33名	②小学生	137名
③中学生	15名	④高校生	2名
⑤父母&大人	173名	合計	360名

2)面白かったブース(アンケート数は合計人数とは合いません)

1)磁石を使った工作	51	2)不思議なコマ	28
3)オーバルビリヤード	26	4)TRIZの発明原理	19

科学体験や工作に取り組む全体として活動の啓発や普及が図られた。

来場者の多いブースでは昼食も摂れずに対応するブースもあり、用意した材料は全てなくなるほど盛況であった。

<考察>

参加人数は、受付で調査した。親子連れが多く、準備した材料が満ててしまいそうなブースがあったが、子どもだけでなく保護者も満足していた様子で、スタッフに質問しながら全員楽しそうに工作を触っていた。クレームは0件、次年度も出展を予定している。



不思議なコマ(子供であふれ)



磁石を使った工作(親子で学ぶ)